

家族と健康

健康教育情報紙

一般社団法人 日本家族計画協会
 リプロ・ヘルス推進事業本部
 健康教育推進本部
 協力：公益財団法人予防医学事業中央会
 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
 電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 <http://www.jfpa.or.jp>
 発行人：北村 邦夫 編集人：櫻田 宏志 henshu@jfpa.or.jp
 毎月1回1日発行 年購読料¥3000+税 1部¥300+税+共

- JFOAは
6Aの
 実現を目指
 します！
- ① Adolescent 思春期保健の推進
 - ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
 - ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
 - ④ Advocacy 啓発・提言活動
 - ⑤ AIDS STI及びHIV/エイズの予防
 - ⑥ Ageing 高齢社会への対応

リプロ・ヘルスのさらなる向上を目指して

平成27年度 本会事業計画書案・収支予算書案承認

本会の平成26年度第2回定例理事会が3月18日、本会多目的ホールで開催され、平成27年度本会事業計画書案ならびに収支予算書案が承認された。以下に、本会の事業計画から主な内容を掲載する。

【平成27年度事業計画】

▽70周年への一歩

1954年に創立した本会にとって、昨年は60周年という大きな節目の年であった。本年は次の70周年に向けての1年目であり、役員一同気持ちよく、歴史認識をめぐり近

ちを新たにさらなる発展を目指して努力して参りたい。

▽少子高齢化の進行

わが国にとっても、今年には戦後70年を迎える年である。国内の情勢は決して楽観できる状況にはな

▽人工妊娠中絶について

本会創立以来の悲願であった人工妊娠中絶届出件数の減少は平成25年度には19万件を下回り18万6253件となったが、5歳階級別で見ると、産み終え世代と思われる40歳以上の実施件数が唯



保健会館新館（東京都新宿区）

一前年を上回っていた。中絶件数・実施率が減少したとはいえ、本会が公益目的支出計画事業の環境として実施している

「第7回男女の生活と意識に関する調査」によれば、16〜49歳の日本人女性の13.2%が中絶の経験があり、そのうち25.9%が中絶を繰り返していることが明らかとなった。

▽望まない妊娠の防止

児童虐待防止はわが国喫緊の課題の一つである。児童虐待防止はわが国

▽望まない妊娠の防止

児童虐待防止はわが国喫緊の課題の一つである。児童虐待防止はわが国

第19回松本賞

久保田俊郎氏に

第19回松本賞選考委員会が3月19日に開催され、11人の候補の中から、寄せられた功績調書を基に厳正な選考を行った結果、東京医科大学大学大

学院 医歯学総合研究科・生殖機能協同学教授・久保田俊郎氏の受賞が決まった。選考委員会は、木下勝之（日本産婦人科医会）、小西郁生（日本産科

婦人科学会）、吉村泰典（日本生殖医学会）、石井澄江（ジョイセフ）、近泰男（本会）（敬称略）から構成されている。贈呈式は6月17日、グランドヒル市ヶ谷（東京都新宿区）で開催予定。（受賞者の略歴は次号に掲載）

健康増進法施行後、受動喫煙防止への意識は高まり、さらに、禁煙希望者も増えてきた。東京オリンピック開催は「法的な罰則規定」のある法へ前進する好機である。06年から喫煙をニコチン依存症と定義し禁煙指導に医療保険を適用する制度が始まったが、禁煙指導経験のある医師を確保するなどの医療保険適応のためのハードルは高い。しかし、受動喫煙防止は「屋内施設完全禁煙化」のルールを明示し、国民に行動を促せばいい。国民的健康運動である「健康日本21」や「健やか親子21」を積極的に推進しているにもかかわらず、受動喫煙にいつまで寛容であり続けるのか、ニッポン！56年ぶりに東京で開催されるオリンピック。ぜひ、健康的な環境の下で開催され、次世代に語り継がれるにふさわしい素晴らしい大会であってほしいと願っている。「世の例（ためし）にもなりぬべき御もてなしなり」（源氏物語・桐壺）

（HM 禁煙歴18年）

編集稿

▼国際オリンピック委員会（IOC）は、1988年以降のオリンピック大会における禁煙方針を採択し、会場の禁煙化だけでなくたばこ産業のスポンサーシップを拒否した。さらにIOCは、2010年7月、世界保健機関（WHO）と「全ての人々に運動とスポーツを奨励し、たばこのないオリンピックを実現し、子どもの肥満を予防するために健康的なライフスタイルを奨励する」というコミットメントを結んだ。先日「五輪へ遠い受動喫煙防止条例」が罰則は困難、「分煙化で妥協も」など、20年の東京オリンピックに関する記事が新聞で取り上げられていた。日本では、03年の健康増進法で「公共の場における受動喫煙の防止義務」が明示されたが、これには法的な罰則規定がない。しかし、健康増進法施行後、受動喫煙防止への意識は高ま

り、さらに、禁煙希望者も増えてきた。東京オリンピック開催は「法的な罰則規定」のある法へ前進する好機である。06年から喫煙をニコチン依存症と定義し禁煙指導に医療保険を適用する制度が始まったが、禁煙指導経験のある医師を確保するなどの医療保険適応のためのハードルは高い。しかし、受動喫煙防止は「屋内施設完全禁煙化」のルールを明示し、国民に行動を促せばいい。国民的健康運動である「健康日本21」や「健やか親子21」を積極的に推進しているにもかかわらず、受動喫煙にいつまで寛容であり続けるのか、ニッポン！56年ぶりに東京で開催されるオリンピック。ぜひ、健康的な環境の下で開催され、次世代に語り継がれるにふさわしい素晴らしい大会であってほしいと願っている。「世の例（ためし）にもなりぬべき御もてなしなり」（源氏物語・桐壺）

（HM 禁煙歴18年）

今月のページ

- 2面 本会事業計画の概要
- 3面 受胎調整地指導員認定講習 在学者にも受講資格 妊娠・出産に関する正しい知識 学校で他
- 4～5面 思春期の貧血
- 6面 全国児童福祉主管課長会議開催 他
- 7面 シリーズ遺伝相談① 他
- 8面 海外情報クリップ
- 産婦人科医による性の健康教育①



(6面)

(3面)

トピック

すべての子どもが健やかに育つ社会を目指して 「健やか親子(第2次)」スタート

母子保健の向上を目指す。平成13年から始まった国民運動計画「健やか親子21」が、この4月から第2次として新たにスタート。第2次計画では、10年後に目指すわが国の姿を「すべての子どもが健やかに育つ社会」とし、すべての国民が地域や家庭環境にかかわらず、同水準の母子保健サービスを受けられることを目指します。その実現のため、現在の母子保健を取り巻く状況を踏まえた三つの基盤課題①切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策②学童期・思春期から成人期に向け

た保健対策③子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくりが掲げられています。この運動は、未来を担う子どもたちが健やかに育つための基盤となるもの。本会も「健やか親子21推進協議会」の参加団体として、力を尽くします。

（HM 禁煙歴18年）

MSD

かしこく、正しく、自分らしく
 あなたが選ぶ避妊スタイル

このサイトはOC(低用量経口避妊薬)や避妊についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。
<http://www.hinin-style.jp> 避妊スタイル 検索

MSD株式会社 〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア <http://www.msd.co.jp/>

2015年2月作成
 MAV15AD003-0220

平成27年度 本会事業計画書案・収支予算書案承認

(1面の続き)

▽子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨および経口中絶薬導入を目指して

2013年4月に定期接種化が決まった子宮頸がん予防ワクチンが同年6月より、副反応を理由に積極的勧奨をしないこととなつて久しく今日に至っている。子宮頸がん予防ワクチンである4価ワクチンの開発に協力した本会としては、子宮頸がんゼロを目指して、積極的勧奨の再開に向けた取り組みと子宮頸がん検診の重要性をさらに周知していった。

さらに、(公社)日本医師会、(公社)日本産婦人科医学会、(公社)日本産科婦人科学会などと協力しながら、懸案となつている経口中絶薬の日本への早期導入に向けた努力を続けていく。

▽受胎調節実地指導員の医薬品販売再延長へ

本年開催される受胎調節実地指導員認定講習会は100回目を迎える。

2015年度の指導者養成事業は、これまで長年にわたつて継続開催してきたセミナーに加え、新たに「健康日本21(第2次)」の4月からスタートする「健やか親子21(第2次)」等の国民運動に掲げられた指標と目標を反映させたテーマで各種セミナーを開催し、指導者の指導力の強化、知識の向上を常に見据えた内容を提供すること、各種事業への理解を深めつつ、本会の基盤づくりの強化に努めたい。

▽教材・備品の頒布
保健指導・健康教育用教材や備品、ヘルスクエア教材の頒布については、指導対象者にとって「理解しやすい」、「指導者の立場では「選りやすい」、使いやすい、指導しやすい、使いやすい」をキーワードに、教材の企画・制作、品質の向上を図つていくとともに、ウェブサイトの活用をはじめとする効果的な広報活動を積極的に進めていく。

▽指導者養成事業

2015年度の指導者養成事業は、これまで長年にわたつて継続開催してきたセミナーに加え、新たに「健康日本21(第2次)」の4月からスタートする「健やか親子21(第2次)」等の国民運動に掲げられた指標と目標を反映させたテーマで各種セミナーを開催し、指導者の指導力の強化、知識の向上を常に見据えた内容を提供すること、各種事業への理解を深めつつ、本会の基盤づくりの強化に努めたい。

主な事業

I 公益目的支出計画事業

①調査・研究
「第8回男女の生活と意識に関する調査」の準備・調整

②相談
「思春期・FP(家族計画)ホットライン」「東京都女性のための健康ホットライン」「東京都不妊・不育ホットライン」の実施

③啓発
冊子「妊娠中から考えるお産のあとの健康」の無料配布、東京都の委託による「不妊・不育」に関する啓発

④表彰
「第19回松本賞」の贈呈、健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)における日本家族計画協会会長表彰

⑤全国大会
健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)の開催

⑥研修
ブロック別母子保健事業研修会、東日本大



指導者養成事業

震災被災地区の指導者支援研修の開催

⑦国際協力
IPPF-ESEA OR(国際家族計画連盟東・東南アジア・大洋州地域事務局)会議への出席、JFPA若者委員会(UICOM)の国際活動支援

⑧機関紙の発行
機関紙「家族と健康」の発行

⑨女性の育成
女性医療セミナー、緊急避妊法適正使用セミナー、指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(SRHセミナー)、思春期保健セミナー、第13回思春期保健相談士学術研究大会、日本思春期学会総会・学術集会(滋賀県)「思春期保健相談士のセッション」、遺伝がわかるセミナー、お母さんと子どもの元気セミナー、思春期保

健セミナー講座、ピアカウンセリング入門セミナー、思春期ピアカウンセリング・コーディネーター養成セミナー、「ピアカウンセラー養成者」養成セミナー、受胎調節実地指導員認定講習会、生きるための心の教育セミナー、性の健康セミナー、自己効力感(セルフエフィカシー)を高める主体的な行動変容を支える健康教育実践セミナー、保健指導力アップセミナー、栄養指導セミナー、教材の企画・制作・頒布

⑩その他
思春期保健相談士ネットワーク、JFPA若者委員会UICOMへの支援、UICOMコンドーム無償提供、10代女性のための携帯サイト運営、国民運動「健やか親子21」の推進、母子保健指導員研修会の開催、中高年女性保健の啓発、産後の性生活の支援、後援・協力事業、団体等への協力と参加

データ分析セミナー、保健師パワーアップセミナー、中高年女性保健セミナーの開催

③国内外の関係機関との協力
国際機関・団体への協力、海外来訪者受け入れ、関連団体との協力

④家族計画研究センター
クリニック活動、電話相談の実施、STI予防、子宮頸がん予防ワクチンの接種と子宮頸部細胞診の実施、HPVを通じてのクリニックの紹介、メディアセミナーの開催、啓発資料等の制作、啓発活動、本会理事長諮問機関であるリプロダクティブ・ヘルズ/ライツ委員会(UICOM)の開催、研究倫理審査委員会の開催、避妊教育ネットワークの推進、遺伝相談施設の紹介、ジェクス・ジャパン・セックスサーパーイの実施

⑤教材の企画・制作・頒布
「健やか親子21」の推進、母子保健指導員研修会の開催、中高年女性保健の啓発、産後の性生活の支援、後援・協力事業、団体等への協力と参加

Seminar Information

指導者のための避妊と性感染症予防セミナー(SRHセミナー)

効果的な児童虐待防止への取り組み

国は「子ども虐待による死亡事例等の検証結果(第10次)」を昨年9月に発表しています。これによれば、第1次から第10次報告までの中心以外の虐待死亡のうち0日・0か月児の事例は111人。

加害者の約9割が実母、実母のうち19歳以下が約3割、母子健康手帳の未発行、妊婦健診の未受診などが9割、望まない妊娠が約7割、若年(10代)出産の経験ありが約4割との結果となっています。

厚生労働省が進めている「健やか親子21(第2次)」では重点課題の一つとして「妊娠からの児童虐待防止」を挙げ、「児童虐待の発生を防止するためには、妊娠期の母親に向けた情報提供等、早期からの予防が重要であること」を強調しています。

【講師(50音順)】安達知子(恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター(愛育病院)、大隈良成(大隈レディースクリニック)、水主川純(聖マリアンナ医科大学産婦人科)、川村百合(ゆり総合法律事務所)、北村邦夫(本会家族計画研究センター)、種部恭子(ウイメンズクリニックWeTORYAMA)、蓮科医院

尾豊(あおもり女性ヘルスケア研究所)、八田真理子(ジュノ・ウェスタクリニックス)、渡邊智子(丸山産婦人科医院)

【対象】医師、保健師、助産師、看護師、養護教諭、看護教員、教職員、カウンセラー(保健・医療・教育・福祉関係者) など

【受講料(税込)】5400円、思春期保健相談士は3240円、学校一括申し込みの場合は教員・学生とも各3240円

回数	開催日	開催地・会場	講師 I	講師 II	講師 III
123回	6月20日(土)	仙台(トラストシティカンファレンス仙台)	北村	蓮尾	渡邊
124回	8月1日(土)	大阪(大阪国際会議場)		大隈	水主
125回	10月3日(土)	札幌(北海道自治労会館)		安達	水主
126回	10月31日(土)	新潟(コープシティ花園)		種部	渡邊
127回	11月21日(土)	沖縄(沖縄コンベンションセンター)		種部	川村
128回	12月19日(土)	福岡(西鉄イン福岡)		安達	渡邊
129回	2016年1月30日(土)	名古屋(名古屋国際会議場)		八田	水主
130回	2016年2月6日(土)	東京(UDXカンファレンス)		大隈	川村

本会主催セミナーのお問い合わせは

☎ 03(32669)4780
FAX 03(32667)2658
※本会HPから簡単に、セミナーのWEB申し込みができます。ぜひご利用ください。
http://www.jpfa.or.jp



電話相談事業

受胎調節実地指導員認定講習 在学者にも受講資格

母体保護法施行規則 一部改正

厚生労働省は2月27日、母体保護法施行規則の一部を改正する省令を公表。都道府県、政令市および特別区母子保健主管部(局)長宛てに通知し、同日付で施行した。

これにより、これまでは「助産師、保健師又は看護師」となっていた受胎調節実地指導員認定講習の受講資格が、認定講習を実施している助産師学校などに在学中の者にも与えられる。

この背景には、助産師の多くが助産師学校の養成課程の中で、受胎調節実地指導員に必要な知識を学んでおり、新たな知識を得るための認定講習を受講する必要性に乏しかったことがある。

厚生労働省はまた、改正に伴う留意事項も通知。在学中の者を認定講習の受講対象とするに当たっては、認定講習に適合する科目を修了したものを求めている。

またこの制度では、助産師学校などを卒業しなかった場合でも、指導員としての業務に従事している者が、認定講習に適合する科目を修了し、指導員としての業務に従事していることが条件となる。

さらに、受胎調節実地指導員の指定を受ける要件には、例えば助産師学校で認定講習に適合する科目を修了したものの助産師免許を得られず、看護師免許のみを取得した場合でも、指導員の指定を受けることができることとしている。

妊娠・出産に関する正しい知識 学校で

少子化社会対策大綱閣議決定

政府は3月20日、「少子化社会対策大綱」を閣議決定した。大綱では、「少子化社会は、個人に責任を求めず、国家に責任を求めず、結婚や出産を希望しても、実現が困難な社会である」「個人・地域・企業・国家に至るまで、多大な影響を及ぼす」「現在の少子化の状況は、我が国の社会経済の根幹を揺るがしかねない危機的状況にある」としている。

政府はこれまでも、産前・産後・産中・産後の健康状態を改善し、妊娠・出産の負担を軽減し、子育ての負担を軽減し、子育ての楽しさを増やすことに取り組んでいる。その一つが「学校教育段階からの妊娠・出産等に関する医学的・科学的に正しい知識の教育」である。

大綱では「個人が将来のライフデザインを描き、妊娠・出産等に関する正しい知識を身につけること」を目標とし、科学的に正しい知識を適切な教材に盛り込むこと、教職員の研修などを行うこととしている。これは、本会や日本産科婦人科学会を含む学際的9団体が、有村治子内閣府特命担当大臣に提出した要望書(前号で既報)の内容に沿った形だ。



9団体の要望書を提出した手交式での、北村本会理事長と有村特命担当大臣(3月2日、内閣府にて)

平成26年度 厚生労働科学研究 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業発表会

子どもが健やかに育つ みらいのために



厚生労働省・安藤よし子局長

厚生労働科学研究助成金によって行われた研究の発表会である、平成26年度厚生労働科学研究・成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「子どもが健やかに育つみらいのために」(本会主催)が3月11日、東京都千代田区海運クラブで行われた。

冒頭、北村邦夫・本会理事長ならびに安藤よし子・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長があいさつ。安藤局長は厚生労働科学研究について「この研究事業では、母子保健分野の課題の解決に向けた研究が実施され、その成果は行政施策の企画・立案のための資料として活用されている。いずれも母子保健、児童福祉の重要な課題に関する研究成果。この講演会が母子保健・児童福祉の関係者にとって最新の研究や、母子保健行政の動向を共有する良い機会になれば幸いです。」と述べた。

発表された研究は、

- ①低出生体重児の予後及び保健的介入並びに妊婦及び乳幼児の体格の疫学的調査手法に関する研究
- ②乳幼児の疾患疫学を踏まえたスクリーニング及び健康診査の効
- ③人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究(これは、次
- ④母子保健に関する国際的動向及び情報発信に関する研究
- ⑤病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究
- ⑥妊産婦のメンタルヘルスの実態把握及び介入方法に関する研究
- ⑦乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究

発表された研究は、

- ①低出生体重児の予後及び保健的介入並びに妊婦及び乳幼児の体格の疫学的調査手法に関する研究
- ②乳幼児の疾患疫学を踏まえたスクリーニング及び健康診査の効
- ③人工妊娠中絶、妊産婦死亡の地域格差に関する研究(これは、次
- ④母子保健に関する国際的動向及び情報発信に関する研究
- ⑤病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究
- ⑥妊産婦のメンタルヘルスの実態把握及び介入方法に関する研究
- ⑦乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究

育」だ。大綱では「個人が将来のライフデザインを描き、妊娠・出産等に関する正しい知識を身につけること」を目標とし、科学的に正しい知識を適切な教材に盛り込むこと、教職員の研修などを行うこととしている。これは、本会や日本産科婦人科学会を含む学際的9団体が、有村治子内閣府特命担当大臣に提出した要望書(前号で既報)の内容に沿った形だ。

北村邦夫・本会理事長コメント「産むか産まないかは個人の選択であることについて今さら言うまでもないが、妊娠・出産には年齢的に限界があるという知識がないために、子どもが欲しいと思いつたときに遅かったとならないように努めるのは教育の責任だと思う。その意味からも、教科書や副教材などに科学的・具体的な情報が盛り込まれることを期待したい」。

表 主な施策の数値目標 (2020年)

妊娠・出産に関する医学的・科学的に正しい知識についての理解の割合	70%(34%/09年)
男性の配偶者の出産直後の休暇取得率	80%
男性の育児休暇取得率	13%(2%/13年度)
第1子出産前後の女性の継続就業率	55%(38%/10年)
結婚・妊娠・出産・子育ての各段階に対応した総合的な少子化対策を行っている地方自治体数	70%以上の市区町村(14%/14年)
乳児家庭全戸訪問事業	全市町村(1,660市町村/13年)
不妊専門相談センター	全都道府県・指定都市・中核都市(62都道府県市/14年度)

Seminar Information

第19回 お母さんと子どもの元気セミナー

本セミナーは、妊娠・出産・育児で悩む方、母子保健分野で支援に携わる方のスキルアップを目的に開催しています。今回は午前「死産・流産」となつた家族へのケアの題で、お母さまを「くされた」両親の悲嘆がどのようなものか、ご両親が望むケア、父親も当事者として家族を支えるケアなどについて蛭田明子先生(聖路加国際大学ウィメンズヘルス・助産学研究室助教)よりお話しいただきます。午後「乳幼児期に虐待を受けた子どもの修正愛着体験」とは「の題で、青木豊先生(目白大学人間学部子ども学)より、愛着(アタッチメント)の問題を持つ親子の事例紹介や、過去に虐待を受けた愛着に障害があった子が大人になって治っていた事例から、指導者の関わり方についてお話しします。

【日時】5月23日(日) 10時30分~15時30分

【会場】東京都中小企業会館(東京都中央区)

【対象】保健師・助産師・看護師・看護教員・保育士等および学生も可

【受講料(税込)】8640円、学生は5400円

第4回 ピアカウンセリング入門セミナー

「ピアカウンセリング手法」は、思春期保健の分野においては既に全国的に活用されており、健やか親子21(第2次)でも具体的な取り組み方策の例示の一つとして「ピアカウンセリング」が盛り込まれています。

さらに近年では、母親相談事業、生活習慣病教育、産業保健指導、学校での生徒との関わりにも展開されるなど、多領域に広がりを始めています。

【開催日・テーマ・講師】

- 4月14日 「乳幼児に多い整形外科的疾患と観察ポイント」森田光明(千葉こどもとおとなの整形外科副院長)
- 5月12日 「スマホネグレクト」内海裕美(吉村小児科院長)
- 6月9日 「赤ちゃんのスキンケア・皮膚疾患」渡辺千春(千春皮膚科クリニック院長)
- 7月14日 「乳幼児期における子どもの気質」水野里恵(中京大学心)
- 9月8日 「予防接種最新情報」岡部信彦(川崎市健康安全研究所)
- 10月13日 「授乳に悩むお母さんへのアドバイス」石川紀子(愛育病院外来部門部長)
- 11月10日 「前向きな子育ての支援」加藤則子(十文字学園女子大学幼児教育学科)
- 12月8日 「乳幼児の栄養と健康」瀧谷公隆(大阪医科大学小児科)
- 2016年1月12日 「子どものしつけ」岩立京子(東京学芸大学)
- 2016年2月9日 「子どもをタバコの害から守る」原田正平(国立育成医療研究センター)
- 2016年3月8日 「リプロダクティブ・ヘルスの最新情報」北村邦夫
- 【日時】毎月第2火曜日13時30分~15時30分
- 【参加費】年会費1万2000円、当日参加3000円
- 【会場・対象・問合せ】8面に掲載(本会HPでも掲載しております)

平成27年度 母子保健指導員研修会

【開催日・テーマ・講師】

- 4月14日 「乳幼児に多い整形外科的疾患と観察ポイント」森田光明(千葉こどもとおとなの整形外科副院長)
- 5月12日 「スマホネグレクト」内海裕美(吉村小児科院長)
- 6月9日 「赤ちゃんのスキンケア・皮膚疾患」渡辺千春(千春皮膚科クリニック院長)
- 7月14日 「乳幼児期における子どもの気質」水野里恵(中京大学心)
- 9月8日 「予防接種最新情報」岡部信彦(川崎市健康安全研究所)
- 10月13日 「授乳に悩むお母さんへのアドバイス」石川紀子(愛育病院外来部門部長)
- 11月10日 「前向きな子育ての支援」加藤則子(十文字学園女子大学幼児教育学科)
- 12月8日 「乳幼児の栄養と健康」瀧谷公隆(大阪医科大学小児科)
- 2016年1月12日 「子どものしつけ」岩立京子(東京学芸大学)
- 2016年2月9日 「子どもをタバコの害から守る」原田正平(国立育成医療研究センター)
- 2016年3月8日 「リプロダクティブ・ヘルスの最新情報」北村邦夫
- 【日時】毎月第2火曜日13時30分~15時30分
- 【参加費】年会費1万2000円、当日参加3000円
- 【会場・対象・問合せ】8面に掲載(本会HPでも掲載しております)

にはさまざまな影響あり

思春期保健
三二講座より

思春期の貧血

—貧血の現場から—

日本医科大学小児科 教授 前田 美穂

思春期に起こるさまざまな問題を取り上げ、知識を深めることができる「思春期保健三二講座」(本会主催)。その第3回で大変好評を博した、小児科医師・前田美穂氏による講演の一部をご紹介します。

(編集部)

最も多い鉄欠乏性貧血

貧血とは何か。立ちくびつて、酸素を運搬する力が弱くなり、ふっと倒れる。ヘモグロビンが減少するが貧血と思っている方が多いので、貧血というのとは違うものかを、まず紹介したい。血球の中には赤血球、白血球、血小板というものがあ。赤血球の中にはヘモグロビンがあり、ヘモグロビンが酸素と結

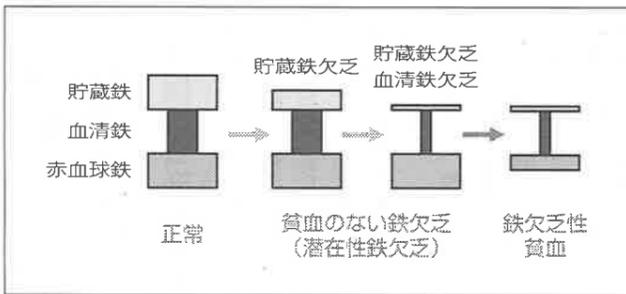


図1 鉄欠乏性貧血への過程

く、これが体中に行き渡れば、顔色はよくなる。貧血の人は顔色や唇の色が悪いというの、ヘモグロビンが少ないという。貧血と立ちくらみのような脳貧血とは違う。もちろん貧血が高度になれば、酸素は脳にも運



前田美穂氏

日本医科大学小児科教授。小児血液・腫瘍学を専門とする。日本小児科学会専門医、日本血液学会専門医・指導医。

ばれず、脳貧血と同じ症状が起きるから、絶対違うとは言えない。学校の朝礼で立って倒れるという子がいるが、それは全真本当の貧血ということではない、ということ。

思春期の貧血で最も多いのが、鉄欠乏性貧血だ。人間は、正常では赤血球の中に鉄があり、血管を流れている鉄もある。そして、肝臓に貯蔵鉄を持って

お、その分だけ食べてお、補うことをしないので、4分の1という数値になる。

ただ、子どもは大体むっつとしていて、「元気がない、何で連れて来られたの」と。半分くらいは、そのような印象がある。

そうはいつても、階段を上るときに息切れがするとか、よく聞いてみると出てくる。最初は言わないのだが、治ったときに、「前からこれまで病院まで来たときにドキドキしなかった?」階段を上ったとき、「聞くと、やはり「最近あまりドキドキしなくなりました」という返事がとても多い。鉄欠乏性貧血の症状は出にくい、この動悸、息切れというのは、非常に多い症状だ。

それから、見た目もある。青白いとか、白い人だなという印象。唇が白っぽい人というのが、よくある症状だ。これらは全て酸素欠乏による症状で、疲れやすかったり、頭痛がしたりする。これが高度になれば、脳貧血のような症状が起きる。

めまいや易疲労感があり、寒さへの抵抗性がなくなるため、すぐ寒く感じてしまうというのは、貧血の一般的な症状だ。もちろん鉄欠乏も同じ。

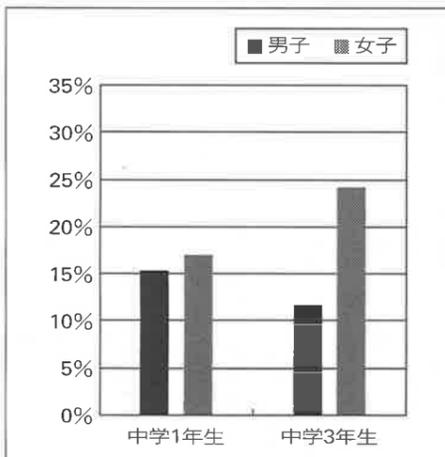


図2 中学生における潜在性鉄欠乏症(貧血のない鉄欠乏)の割合

自覚症状なく徐々に進行

急激な貧血というのは、自覚症状がすぐ出るが、先に述べたように、鉄欠乏性貧血というのは、ほとんど自覚症状が出ない

うちに進む。私のところには、学校健康診で貧血とされ、受診される方が多い。貧血で来る方には、やはり何か

の病気が白血病だったり再生不良性貧血だったりがある。しかし、ほとんど鉄欠乏性貧血の方は、症状があまりない。だから、親御さんが学校健康

で結果をもらって来るわ

その他に問題なのは、学習意欲の低下や、記憶力の低下だ。これは脳にある鉄分が不足するため

ということがある。さまざまな実験によって分かっている。記憶力の低下で、マウスの実験がある。鉄欠乏食というものがあ、鉄を入れていない

状態では、集中力の低下、興奮しやすい、注意力低下、記憶力低下、言語学習力低下、認知力低下というのがよくいわれる。『Lancet』とい

治療すれば、こう(ハ)

貧血は記憶力にも影響

それが鉄欠乏食で育てたマウスは、最後まで行き着くことができない。何回やってもうまく行かないということがある。さまざまな実験によって分かっている。記憶力が駄目になるとい、動物実験でも明らかになっている。貧血のない鉄欠乏の症状としては、集中力の低下、興奮しやすい、注意力低下、記憶力低下、言語学習力低下、認知力低下というのがよくいわれる。『Lancet』とい

「氷を食べる」は要注意

鉄欠乏性貧血に特徴的な症状もある。一番多いのは異食症だ。特に氷を食べたいというのが多い。四角い氷を方方りとかむ。冷たいのがいいのではなく、かむ心地がいいようだ。先日、講演をしたときに、小学校の先生がいらして「氷を食べたくて、学校で授業をしていても、隠れて氷を持ってきて、机の下に入れておくんですよ」とおっしゃった。このくらい食べたいということも、極端な場合はあるようだ。ただ通常は、思春期だったら、学校から帰って冷蔵庫を開けて氷を食べるといような状態。それを見たお母さんが、「何かおかしい」と思ったんですよ。水ばかり食べて」とな

それからよくあるのは、口角炎や、舌の荒れ。舌には乳頭という細かい突起があるが、それが平坦化するということがある。子どもではあまりないが、食道の粘膜に引っ張りが出て、これを食道がんと間違えて来られる方も、内科ではまれにいるようだ。

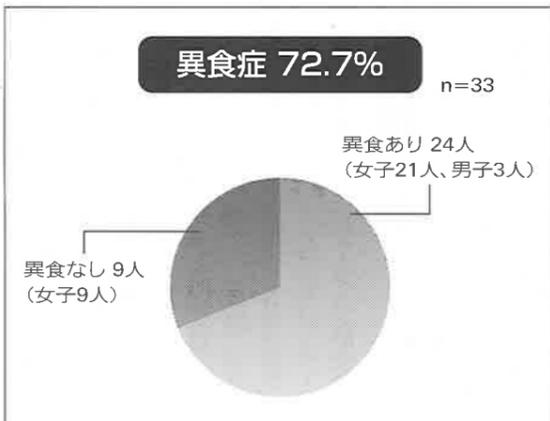


図3 異食症の発現頻度

厚生労働省

全国児童福祉
主管課長会議 開催

▽不妊に悩む方への特定
治療支援事業の見直し
平成26年度から、40歳
未満の方で新規に助成を
受ける場合については、
年間助成回数に制限を廃
止し、通算助成回数を6
回までとしている。ま

厚生労働省雇用均等・児童家庭局は3月17
日、全国児童福祉主管課長会議を開催。平成
27年度の国の事業について、各自治体に説明
を行った。母子保健事業の中で、本事業に
関連する主な内容は次の通り。

▽不妊専門相談センタ
事業
不妊に対する専門の相

▽妊婦について悩む者が
相談しやすい体制の整備
「子ども虐待による死
亡事例等の検証結果等に
計画策定

▽「健やか親子21」(第2
次)の推進と母子保健
計画策定

平成27年度は、10月7
日(9日)に、神奈川県
の神奈川県民ホールに

性と健康に関する知識の普及啓発を

「すべての子どもが健
やかに育つ社会」の実現
に向けて、平成27年度か
ら10年間、「健やか親子
21」(第2次)に取り組
むこととしており、国民と
国・地方公共団体、関係
団体が一体となって取り
組むよう求める。各地方
公共団体においても、母
子保健計画の策定と定期
的な評価をお願いする。
▽「健やか親子21」全国
大会(母子保健家族計画
全国大会)

おいて開催予定。
▽マタニティマーク
妊産婦に対する社会の
理解と配慮を促すため、
各市町村において、母子
健康手帳と併せてマタニ
ティマークの配布や、主
旨の普及啓発をお願いし
ている。平成26年度調査
において、啓発の取り組
みを実施している地方公
共団体が1678、妊産
婦個人用グッズを配布し
ている地方公共団体が1
690だった。今後もさ
らなる周知、普及に向け
取り組みの推進を求め

出産後の仕事復帰と母乳育児に関する調査

仕事復帰後の母乳育児 50%

搾乳機などを販売するメ
デラ(株)は、母乳育児を行
っていた母親の仕事復帰が母
乳育児に与える影響など
について、出産後1
年6か月未満で仕事復
帰した女性を対象に調
査を実施。3月4日に
調査結果を発表した。
これによれば、母乳
育児を行っていた女性の
50%が、仕事復帰後
も母乳育児を行ってい
た。そのうち「仕事
中も母乳のみを与えた」
は13%、「仕事中は母
乳と粉ミルクの両方を
与えた」17%、「仕事
中は母乳を与えていな
い」(出勤前や帰宅後
に継続)が70%と、ほ
とんどが仕事中は母乳
栄養を与えられていな
い現状となっている。復帰
後母乳育児をやめた、もし
くは継続したが仕事に母

乳を与えていなかった女性
に「仕事でも母乳を与え
たか」と聞いたところ
では、68%が「与えた
かった」と回答してい
る。
仕事復帰した女性の
15%は、職場で搾乳を
行っていた。搾乳場所
は、トイレが最多で58
%。搾乳の目的のほと
んどは「乳房の痛み・
腫れを解消するため」
(82%)で、「持ち帰
って子どもに与えるた
め」と答えたのは27%
と少数。しかし、職場
で搾乳していた女性の
55%が「母乳を捨てず
にストックできればいい
のに」と回答してお
り、環境や条件が許せ
ば持ち帰って子どもに
与えたいと考えていた女性
が半数を超えていること
が分かった。

思春期の貧血

食事では鉄をとれない
と、当然鉄は不足する。
それが短期間ならいい
が、長期間それが続いて
しまえば鉄欠乏性貧血に
なるというが、非常に多
いといわれている。
不足とは逆に、鉄の需
要の増加というのもある。

鉄欠乏性貧血の原因(表1)

さらに思春期の女子で
は、月経過多。今は12歳
が初経年齢の平均という
ことだが、始まったとき
から2~3年は安定しな
い。初めは体内の鉄に余
力があるので、貧血は出
ない。実際に出てくるの
は大体14歳ぐらい。つま
り、中学2年生以降多く

鉄欠乏性貧血の原因と
して、最近いわれている
のは、ヘリコバクター・
ピロリだ。ピロリ菌がい
ると、恐らく吸収の問題
が起これ、鉄欠乏に至
る。十二指腸から空腸に
かけて吸収するが、胃酸
の濃度がアルカリ側に少
し傾くといわれており、

鉄欠乏性貧血と診断さ
れた場合の治療の原則
は、鉄剤服用と食事。鉄
代謝はどうかというよう
な数字的なものもある
が、それよりも思春期で
月経が始まると女子は非
常に鉄の必要量が増え
る、ということだ。

また、鉄だけでなく、
栄養をバランス良くとら
なくてはならない。孤食
といわれるが、子どもに
1人で食べさせるとい
うことは、どうしても好
まぬものばかり食べてし
まうということになるた
め、これはやっぱりまず
いだろう、というのが原
則だと、私は思ってい
る。

思春期の女子は今約10
%、あるいはそれ以上に
貧血がある。そのほとん
どは鉄欠乏性貧血だ。先
ほど述べたように、症状
が異食症以外にほとんど
ないので、血液検査を受
けなければ診断されない
ことが多い。自覚症状が
なくても、鉄欠乏がある
貧血の治療は、鉄剤の服
用が最も大切であるけれ
ども、治療はヘモグロ
ビ

鉄の吸収の話をする
と、先ほど述べたよう
に、非ヘム鉄というのは
ホウレンソウなどに入っ
ていて、吸収が少し悪
い。ヘム鉄は魚や肉類に
入っていることが多い。
平均するとヘム鉄は体内
で23~28%吸収される。
非ヘム鉄は5~6%とい
われている。貯蔵鉄が全
くない状態では、ヘム鉄

は35%、非ヘム鉄は5~
20%吸収できる。ところ
が、貯蔵鉄が多くなる状
態、例えば1000ミリ
グラムある場合、ヘム鉄
であっても15%しか吸収
できない。非ヘム鉄は3
~5%しか吸収しない。
このように、ヘム鉄と非
ヘム鉄の吸収は、貯蔵鉄
と関係しているというこ
とだ。

鉄剤の服用でも同じ。
貧血の強い状態にある人
は、当然貯蔵もなくなっ
ていく。当然に飲み薬
だけでよくなる。

「」いった記憶力は上
がる。認知力や言語の記
憶認知力を上げる効果
が、鉄剤にはあるとい
う、人を使った初めての
実験。貧血のない、鉄欠
乏の段階でもこういった
言語を認知する能力とい
うのが落ちていて、とい
うわけだ。こういった脳
の中の異常は、貧血がな
くても起きる。本当だっ
たらその前に対処しなけ
ればいけないというこ
とになる。

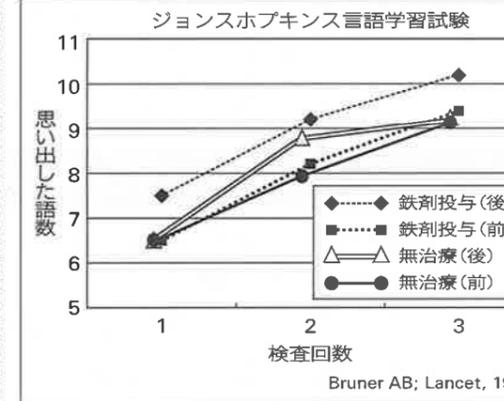


図4 思春期女子の認知力に及ぼす鉄剤の効果

表1 鉄欠乏性貧血の原因

- 1. 鉄摂取の不足：食事性
- 2. 鉄吸収障害：蛋白漏出性胃腸症、食事アレルギーなど
- 3. 鉄需要の増加：低出生体重児、乳幼児および思春期の急激な成長
- 3. 出生時貯蔵鉄の減少：早産、低出生体重、双胎間輸血、胎児胎盤輸血、
- 4. 鉄の喪失：月経過多、消化管出血、慢性鼻出血、肺ヘモジテロシス
- 5. スポーツ
- 6. ピロリ菌

ヘム鉄と非ヘム鉄の吸収

鉄欠乏性貧血と診断さ
れた場合の治療の原則
は、鉄剤服用と食事。鉄
代謝はどうかというよう
な数字的なものもある
が、それよりも思春期で
月経が始まると女子は非
常に鉄の必要量が増え
る、ということだ。

また、鉄だけでなく、
栄養をバランス良くとら
なくてはならない。孤食
といわれるが、子どもに
1人で食べさせるとい
うことは、どうしても好
まぬものばかり食べてし
まうということになるた
め、これはやっぱりまず
いだろう、というのが原
則だと、私は思ってい
る。

思春期の女子は今約10
%、あるいはそれ以上に
貧血がある。そのほとん
どは鉄欠乏性貧血だ。先
ほど述べたように、症状
が異食症以外にほとんど
ないので、血液検査を受
けなければ診断されない
ことが多い。自覚症状が
なくても、鉄欠乏がある
貧血の治療は、鉄剤の服
用が最も大切であるけれ
ども、治療はヘモグロ
ビ

鉄の吸収の話をする
と、先ほど述べたよう
に、非ヘム鉄というのは
ホウレンソウなどに入っ
ていて、吸収が少し悪
い。ヘム鉄は魚や肉類に
入っていることが多い。
平均するとヘム鉄は体内
で23~28%吸収される。
非ヘム鉄は5~6%とい
われている。貯蔵鉄が全
くない状態では、ヘム鉄

は35%、非ヘム鉄は5~
20%吸収できる。ところ
が、貯蔵鉄が多くなる状
態、例えば1000ミリ
グラムある場合、ヘム鉄
であっても15%しか吸収
できない。非ヘム鉄は3
~5%しか吸収しない。
このように、ヘム鉄と非
ヘム鉄の吸収は、貯蔵鉄
と関係しているというこ
とだ。



総論編① シリーズ

遺伝相談

出生前診断がメディアをにぎわせるようになって、遺伝カウンセリング(以下、遺伝相談)という活字が急速に露出するようになった。総じて「遺伝相談なくして遺伝学的検査や遺伝医療は勧められない」と言われてきたが、「遺伝相談とは」という議論はあまりお目にかからない。本稿では「遺伝相談」についての私見を紹介したい。

● 遺伝相談とは

遺伝相談発端当初は「次の子どもに同じ遺伝病を持った子どもが産まれないか」という「次子再発危険率(現在は再発率または再発確率)」中心の相談が多かった。遺伝的診断技術の進歩を迎え「確率提示」という曖昧な情報より「確定診断」を求める動きへと移行し、「出生前診断」が登場した。その根底には遺伝病を持つ胎児の出生予防が底流をなしている(と否めない)。

遺伝病を持つて生活している人々にとって、診断技術の進歩によりもたらされた正確な診断名とそれに基づく治療、遺伝情報は福音となつていく。一方、個人の生命予後を明らかにしたり、血縁への波及という新たな問題も突き付ける。その中には「今は発病してないが何歳ごろにがんが発症する」とか「植物状態になる」といった情報や、保因者(本人は発

遺伝にまつわる悩み

和歌山つくし医療・福祉センター名誉院長 月野 隆一

病しなげが次世代に発病者が生まれる。情報が含まれる。富和清隆氏(東大寺福祉療育病院院長)の言葉を借りれば、このような情報「bad news」を「知らずに生きる覚悟」「知って生きる覚悟」についても前もって話し合う必要がある。

次の一歩をどう踏み出すかは、クライエントの置かれた環境、家族観、性格、人生観、遺伝観、倫理観、死生観、価値観などにより百人百様であるが、相談のゴールは対話によりクライエント自身の問題解決能力を引き出し、自らの意思により次の一歩を踏み出すよう支援することにあり。

● 問題解決能力の支援

男性不妊部門長による基調講演を行い、実際に治療に掛かる費用や、検査・治療の現状、不妊の原因の約半数は男性にあることなどについて説明した。次いで、重河真弓・厚生労働省育児・介護推進室長補佐は、「治療のため退職してしまうことは会社にとっても損失。育てた人材を失わないか」と話し、時間単位の年休取得やフレックスマークといった制度の新設を例示した。

当日は事業主や一般県民約150人が参加した。初めに、北澤正文・獨協医科大学産科婦人科学講座教授および若木見明・国際医療福祉大学リプロダクションセンター

「21番染色体が3本だから」「遺伝子変異があるから」即ち異常と判断し、思考停止が起る。記号で異常と判断された人々がどのような症状を持ち、社会的、医療的にさまざまな支援を受けながら生活している姿への理解が不可欠である。出生前診断のマススクリーニング化の足音が聞こえ始めた昨今、より重要となる。

● 遺伝相談の課題

個別の疾患については今後のシリーズで述べられるので、一般的なまとめを行ってみる。

① 疾患を持った人への理解

検査結果は染色体、遺伝子変異共に記号で表記され、「正常」か「異常」に大別される。クライエントは提示された意味が分からず、ますます不安に陥る。

② クライエントの心の平穏

遺伝相談とは、クライエント自身が問題解決能力を発揮して自己決定に至るまで寄り添い、支援する過程である。その基本である「クライエントの心の平穏」が得られない場合は、まずはこれを

まずは治療をしている方が身近に居ることを知っていただき、不妊を健康課題の一つとして捉え、課題を抱える社員が働きやすい環境づくりをお願したいなどと訴えた。

当日は関係団体の協力を得て、妊娠・出産に向けた健康づくりの重要性を訴えるため、乳がんの触診体験や骨密度測定などのコーナーの設置や、不妊専門相談員による相談などを実施し、多くの来場者にご利用いただいた。

● 今後の取り組み

参加者へのアンケートでは「今後行政が取り組むべき不妊対策」として、半数以上の方が「職場の不妊治療への理解の促進」「経済的支援の拡



栃木県は、近年の不妊に悩む夫婦の増加を受け、1月11日に「とちぎ不妊対策シンポジウム」を行いました。その開催報告を、ここに紹介します。(編集部)

○経緯・目的

栃木県では、不妊に悩んでいる方に対し、不妊専門相談センターでの相談支援や特定治療への経済的支援などを行っているが、助成件数は開始当初と比べ約6・8倍に増加するなど、不妊に悩む方は

とちぎ不妊対策シンポジウムを開催して

栃木県保健福祉部こども政策課母子保健担当 今泉 衛

職業環境への改善を図り、安心して妊娠・出産・育児ができるよう社会の気運を高めるため「とちぎ不妊対策シンポジウム」を開催した。

○対象・内容

当日は事業主や一般県民約150人が参加した。初めに、北澤正文・獨協医科大学産科婦人科学講座教授および若木見明・国際医療福祉大学リプロダクションセンター

「21番染色体が3本だから」「遺伝子変異があるから」即ち異常と判断し、思考停止が起る。記号で異常と判断された人々がどのような症状を持ち、社会的、医療的にさまざまな支援を受けながら生活している姿への理解が不可欠である。出生前診断のマススクリーニング化の足音が聞こえ始めた昨今、より重要となる。

● 遺伝相談の課題

個別の疾患については今後のシリーズで述べられるので、一般的なまとめを行ってみる。

① 疾患を持った人への理解

検査結果は染色体、遺伝子変異共に記号で表記され、「正常」か「異常」に大別される。クライエントは提示された意味が分からず、ますます不安に陥る。

② クライエントの心の平穏

遺伝相談とは、クライエント自身が問題解決能力を発揮して自己決定に至るまで寄り添い、支援する過程である。その基本である「クライエントの心の平穏」が得られない場合は、まずはこれを

まずは治療をしている方が身近に居ることを知っていただき、不妊を健康課題の一つとして捉え、課題を抱える社員が働きやすい環境づくりをお願したいなどと訴えた。

当日は関係団体の協力を得て、妊娠・出産に向けた健康づくりの重要性を訴えるため、乳がんの触診体験や骨密度測定などのコーナーの設置や、不妊専門相談員による相談などを実施し、多くの来場者にご利用いただいた。

● 今後の取り組み

参加者へのアンケートでは「今後行政が取り組むべき不妊対策」として、半数以上の方が「職場の不妊治療への理解の促進」「経済的支援の拡

ブースでの骨密度測定の様子



国際家族計画連盟(IPPF) スパトラ・ジャヤラジ氏

「災害と女の子たち」を語る

ジョイセフは3月13日、セミナー「ガールズパワーで災害復興」を東京国際フォーラムで開催。医師であり国際家族計画連盟(IPPF) 緊急・復興支援東・東南アジア・大洋州地域総括マネージャーのスパトラ・ジャヤラジ氏が講演した。ジャヤラジ氏は、「災害や紛争において女性は、特に弱い立場に置かれる。今、6500万人という人々が紛争や自然災害によって影響を受けており、そのほとんどが女性や子ども、年少者たちだ。特に女性は、性的暴力やジェンダーに基づく暴力を受けるリスクが高い。性感染症や若年妊娠、危険な中絶なども起る。しかし、災害が起きたとき、大きなけがやトラウマなどのケアの動きはすぐに起るが、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス(SRH)のサポートは提供が難しい」とした上で、現地でのニーズと提供されるサービスのギャップを埋めるための、さまざまなプログラムを紹介。「非常時にSRHを求めることは、女性のわがままではなく、基本的な人間の権利として守られるべきものだ」と強く訴えた。

「不妊の普及啓発の必要性が明らかとなった。これらの課題を踏まえ、対象者ごとに啓発の内容や情報提供のあり方などを再度検討し、不妊治療と仕事を両立しつつ見が拳がった。また、複自らのライフプランを実現できるような、環境を整えていく取り組みを進めていく必要がある」と述べた。

海外情報クリップ

◆子宮頸がん予防目標
米国保健福祉省が掲げている「国民の健康2020」(Healthy People 2020)には、2020年までに子宮頸がんの罹患率を、10万婦人・年当たり7.1、死亡率を2.2まで減少させる目標があります。今回の報告で07

年、つまり子宮頸がんワクチンが発売された翌年から約5年で、目標までの程度進んだかを検証しました。11年で見れば、罹患率は、10万婦人・年当たり7.5、死亡率は2.3となり、死亡率は下の目標は達成に向けて順調に進んでいます。

一方、罹患率を減少させる目標は、あと一歩努力が必要であることが分かりました。子宮頸がんの予防には、ワクチンの接種と、その後の定期的な早期発見のための検査(スクリーニング)の二つが特に重要と考えられています。連邦政府によるワクチン接種実態調査によれば、13~17歳の女子の接種率は37.6%

◆定期検査未受診率は11%
その背景は？
米国保健福祉省はスクリーニングの実態を調べるため、BRFSSと呼ばれる国民調査を通じて、全州から無作為抽出した21~65歳の女性へ電話調査で、「Pap検査(細胞の異常を見る検査)を受けましたか」と聞いています。その結果、全体の約11%の女性が過去5年間に一度もスクリーニ

ングを受けていないことが分かりました。さらに詳細を調査すると、健康保険に加入していない女性や、普段から受診できるような家庭医や婦人科医を持っていない女性の4人に1人がスクリーニングを受けていませんでした。また、州別で見ると、受けていない女性の割合が14%を超えているのはアイダホ、アーカソナス、ミシシッピ、フロリダ、ウエスト・バールニア、ワイオミングなどの比較的南部に多く、逆にスクリーニング率の高い州は、メイン、デラウェア、ロードアイランド、マサチューセッツなどでした。このような結果から報告書では「子宮頸がんに関しては地域差が大きく、スクリーニング率の低い南部の州は罹患率と死亡率が高い。そ

のため、自己免疫疾患の発症や悪化の原因になるのではないかと疑われるわけですが、実際、フランスをはじめ、欧州ではHPVワクチン接種後に多発性硬化症が発症したという報告があり、議論を起しました。このような背景から、最近いくつかの研究報告が発表されました。

◆リスク上昇を否定する報告
多発性硬化症は、自分の細胞や組織を攻撃する自己免疫に関わる病気の一つですが原因は不明です。一方、ワクチンはウイルス疑似感染を起し、免疫抗体を増強する

背景には、貧富の差、つまり医療にかかると「お金の問題」と、頸がん予防に対する認識不足や通院の不便さなど、社会環境の二つが影響していること述べられています。参考 MMR 2014 Nov 5 Vol.63 CDC

◆暴力男性の素因
米国男性の5人に1人は、緊密な関係にあるパートナーの女性に暴力行為をしたと告白しているという実態が、ミシガン大学の調査で明らかにされました。研究グループによると、暴力は知らない人からの被害を想像しがちですが、実際は普段から日常的に会っている関係の男性から受けることが多いということです。この傾向は、人種や貧富の差などには関係なく、いつどこでも起こる可能性があります。

研究では、平均年齢42歳の男性530人を調査しました。8割が白人で仕事をもち、ハイスクール以上の学歴です。このうち19%が、妻または女性パートナーに暴力行為をしたことのある男性でした。ところが、これらの男性にはある特徴が見られ、家庭医に入院するケースが比較的多いことが分かりました。つまり、暴力行為のリスクを持つ男性患者は、受診しても特に主訴がなければ潜在する暴力傾向には注意が払われず、いわゆるテルテルサイン(Tell-tell)隠そうとしても自然に表れる態度や身振り)が見逃されているということです。

しかし、これらのサインはすでに特定されています。例えば過敏性腸症候群や不眠症、麻薬の常用などの他、特に影響が大きいのは、子どものときに受けた、あるいは見た暴力行為です。米国では、家庭内暴力が年々増加しており、被害者の女性が治療を受けた回数は年間約32万回、1200人の女性が亡くなっています。テルテルサインをアライマリー・ケアの医療接点で活用できるようにすれば、家庭内暴力や性暴力はもっと回避できるのではないかと考えています。

米国の子宮頸がんスクリーニングの実態

—HPVワクチン発売5年の成果—

が国の子宮頸がんで亡くなる女性をゼロにできる日が遠くたってしまつたか、少し心配になった相談からのお話です。

◆リスク上昇を否定する報告
多発性硬化症は、自分の細胞や組織を攻撃する自己免疫に関わる病気の一つですが原因は不明です。一方、ワクチンはウイルス疑似感染を起し、免疫抗体を増強する

背景には、貧富の差、つまり医療にかかると「お金の問題」と、頸がん予防に対する認識不足や通院の不便さなど、社会環境の二つが影響していること述べられています。参考 MMR 2014 Nov 5 Vol.63 CDC

◆暴力男性の素因
米国男性の5人に1人は、緊密な関係にあるパートナーの女性に暴力行為をしたと告白しているという実態が、ミシガン大学の調査で明らかにされました。研究グループによると、暴力は知らない人からの被害を想像しがちですが、実際は普段から日常的に会っている関係の男性から受けることが多いということです。この傾向は、人種や貧富の差などには関係なく、いつどこでも起こる可能性があります。

研究では、平均年齢42歳の男性530人を調査しました。8割が白人で仕事をもち、ハイスクール以上の学歴です。このうち19%が、妻または女性パートナーに暴力行為をしたことのある男性でした。ところが、これらの男性にはある特徴が見られ、家庭医に入院するケースが比較的多いことが分かりました。つまり、暴力行為のリスクを持つ男性患者は、受診しても特に主訴がなければ潜在する暴力傾向には注意が払われず、いわゆるテルテルサイン(Tell-tell)隠そうとしても自然に表れる態度や身振り)が見逃されているということです。

しかし、これらのサインはすでに特定されています。例えば過敏性腸症候群や不眠症、麻薬の常用などの他、特に影響が大きいのは、子どものときに受けた、あるいは見た暴力行為です。米国では、家庭内暴力が年々増加しており、被害者の女性が治療を受けた回数は年間約32万回、1200人の女性が亡くなっています。テルテルサインをアライマリー・ケアの医療接点で活用できるようにすれば、家庭内暴力や性暴力はもっと回避できるのではないかと考えています。

◆子宮頸がん検査を受けたいところを要請と成り、組織検査を2回受けたという女子大生から電話がありました。「前回の検査では軽度異形成だったが、今回は中等度異形成になったので、がんが進行しているか不安です」という内容でした。

◆電話相談
●東京都女性のための健康ホットライン ☎03(3333)7455※火曜日のみ
●思春期・FPOホットライン ☎03(3333)2030
www.jpfa-clinic.org/

◆電話相談員募集
本会では、経口避妊薬、緊急避妊薬、月経、妊娠不安、更年期などの相談に応じて、専門家を募集しています。平日の昼、市谷にお越しいただける方。詳細は ☎03(3333)2094



子宮頸がんは、性行為をきっかけにウイルス感染することが、よく知られています。しかし、そのウイルスは、たまたま性行為で子宮の入り口に運ばれるのであって、コンドーム使用の有無にかかわらず、注意しても誰もが感染するという科学は伝えられていません。病気になる経緯に大きな誤解があると思えば、わ

子宮頸がん検査を受けたいところを要請と成り、組織検査を2回受けたという女子大生から電話がありました。「前回の検査では軽度異形成だったが、今回は中等度異形成になったので、がんが進行しているか不安です」という内容でした。

◆電話相談
●東京都女性のための健康ホットライン ☎03(3333)7455※火曜日のみ
●思春期・FPOホットライン ☎03(3333)2030
www.jpfa-clinic.org/

◆電話相談員募集
本会では、経口避妊薬、緊急避妊薬、月経、妊娠不安、更年期などの相談に応じて、専門家を募集しています。平日の昼、市谷にお越しいただける方。詳細は ☎03(3333)2094



診療は毎週火、金、第2土曜

◆電話相談
●東京都女性のための健康ホットライン ☎03(3333)7455※火曜日のみ
●思春期・FPOホットライン ☎03(3333)2030
www.jpfa-clinic.org/

◆電話相談員募集
本会では、経口避妊薬、緊急避妊薬、月経、妊娠不安、更年期などの相談に応じて、専門家を募集しています。平日の昼、市谷にお越しいただける方。詳細は ☎03(3333)2094

一人で悩んでいませんか。

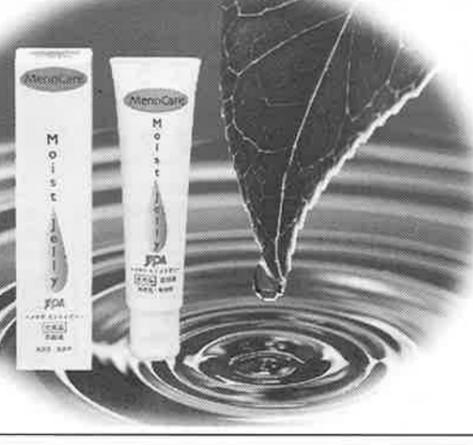
更年期以降には、女性ホルモン(エストロゲン)の分泌量低下に伴い、デリケートゾーン(陰周部)の乾燥による違和感・不快感に悩んでいる女性は少なくありません。そのような方々のために開発されたこの専用保湿ゼリーは、日常的ケアで爽やかライフをお届けします。

陰周辺の乾燥による“つらい不快感”のケアに!

JFPA メノケア® モイストゼリー 《保湿液》

特長

- ・のびがよく、塗りやすいゼリータイプです。
- ・高い保湿力を備え、潤いが持続します。



化粧品

- 無着色・無香料
- 殺菌処理済
- パラベン無添加

■50g入 1,620円(本体価格1,500円)

発売元
JFPA 一般社団法人 日本家族計画協会
TEL 03-3269-4727

製造販売元
POLA PHARMA 株式会社 ポーラファルマ
TEL 0120-12-2721(通話料無料)

